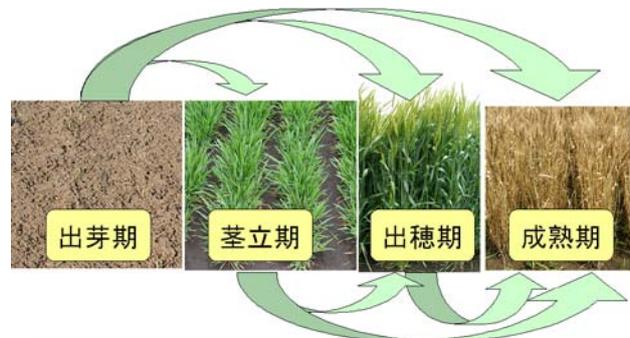


## 適期に栽培管理を行うための 小麦「さとのそら」の発育予測法

小麦「さとのそら」の茎立期・出穂期・成熟期は、気温・日長データを用いたモデルにより予測でき、予測結果は追肥、麦踏み、赤かび病防除等の作業計画作成に活用できます。

### 気温、日長から発育予測ができる

出芽期、茎立期、出穂期のいずれかを把握しておくことで、今回開発した日平均気温、日長データを用いた予測モデルにより、茎立期、出穂期、成熟期が予測できます。



気温・日長から生育ステージ間の必要日数を予測

※出芽期：40～50%の芽が地表にでたとき      茎立期：主稈長が2cmになった時期      出穂期：全茎の40～50%が出穂した日  
成熟期：茎葉並びに穂首部分が黄化し、穂軸や粒は緑色がぬげ、粒にはツメ跡が僅かにつき、ほぼロウぐらいの固さに達した粒をつける茎が、全穂数の80%以上に達した日

### 予測の方法

表計算ソフトを用いて、簡便に予測できます。

平成25年3月3日

②最寄の地名を選択してください。平成25年3月3日  
年平均気温、日長に反映されます。

⑤予測結果が表示されます

⑥気温が平年より高く(低く)推移した場合は予測するには、ここに数値を入力することで、平年値に反映されます。

③予測地域  
水戸

④判明している範囲の本年の平均気温を入力してください。未入力部分は年平均気温を用いて計算されます。「クリア」ボタンを押すと入力データが消去されます。

①出芽期から予測

播種期	出芽期	茎立期	出穂期	成熟期	年平均気温(°C)	本年平均気温(°C)	予測用データ
-	11月15日	3月15日	4月23日	6月14日	1981-2010	クリア	

①出芽期(あるいは播種期、茎立期、出穂期)を入力または選択してください。

③出芽期(あるいは播種期、茎立期、出穂期)に達した日付を選択してください。

④判明している範囲の本年の平均気温を入力してください。未入力部分は年平均気温を用いて計算されます。「クリア」ボタンを押すと入力データが消去されます。

⑤青い欄に予測結果が表示されます。

⑥気温が平年より高く(低く)推移した場合は予測するには、平年比の欄に数値を入力することで、数値を反映した平年値で計算されます。

使用方法：  
①予測の起点としたい生育ステージ(播種期、出芽期、茎立期、出穂期)によってシートを選択してください。  
②予測地域を選択してください。  
③起点としたい生育ステージ(播種期、出芽期、茎立期、出穂期)に達した日付を選択してください。  
④判明している範囲の本年の日平均気温を入力してください。  
⑤青い欄に予測結果が表示されます。  
⑥気温が平年より高く(低く)推移した場合は予測するには、平年比の欄に数値を入力することで、数値を反映した平年値で計算されます。

### 使用上の注意点

- ・表計算ソフト用ファイルは農業研究所ホームページ上から入手できます。ファイルに記載されている使用方法や、使用上の注意点を参考に活用してください。
- ・播種期からの予測も可能ですが、出芽期からの予測に比べ多少精度が劣ります。
- ・予測したい圃場が気温測定地点から離れている、気象経過が平年と大きく異なる、倒伏・湿害等による生育への影響が大きい場合は予測の精度が低くなる可能性があります。